



これからの活動に向けて士気を高める団員たち 16日、福井市のハピテラス(杉本哲大撮影)

宇宙わくわく スペースキッズ 3期目スタート



ゆめ★くるい
つくふく

宇宙分野や科学技術に携わる人材育成を目指すプロジェクト「ゆめくるい」を展開する福井新聞社は16日、子ども組織「スペースキッズ」(福井信用金庫特別協賛)の本年度の結団式を福井市のハピテラスで行った。好奇心あふれる団員たちは、楽

しみながら宇宙への関心を高め活動していくことを誓った。【22面に関連記事】

結団式は、開催中の航空宇宙の国際会議「第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)福井大会」に合わせた。

3期生となるスペースキッズには県内の小学5、6年生103人が参加。式には団員88人と保護者ら約200人が出席した。福井新聞社の吉田真土社長はあいさつで、「活動を通して、将来の福井を引っ張っていく人になってください」と激励した。

3年連続でスペースキッズのサポーターを務める宇宙飛行士の山崎直子さんは「将来一緒に宇宙の仕事ができればうれしい」とメッセージを寄せ、団員を代表して水野陽由さん(福井大附義務6年)が「宇宙分野で活動を広げる福井に貢献できる人になりたい。今からわくわくしている」と意欲を述べた。

団員は、天体観測、ペットボトルロケット作りなどを通じて宇宙や科学の魅力に触れる。結団式の内容は、30日付の特集面で紹介する予定。

(北川龍次)